

SUZUCHU VOL.73 NOW

2023

●発行日 2023年7月1日
 ●発行 鈴鹿中央総合病院
 ●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
 TEL 059-382-1311
 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
 ●編集協力 TCK名古屋

【道】

……その先にあるもの 最新のアンギオCT導入



SUZUCHU NOW Vol.73 2023 夏

●発行日 2023年7月1日 ●発行 鈴鹿中央総合病院

●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/ ●編集協力 TCK名古屋



Salon de news

- 新入職員オリエンテーション
- 生命の駅伝

教えてQ&A

「医療費について」

院内【知っ得!辞典】

「理学療法士の紹介」

誌面でクッキング

オレンジゼリー

理学療法士の紹介 運動器認定理学療法士

院内 知っ得! 辞典



運動器認定理学療法士
練木 いくみ

認定理学療法士は日本理学療法士協会が定める基準を満たした理学療法士に与えられる認定資格で、理学療法士の高い専門的な技術の維持、社会や組織の中で専門性をより高めていくことを目的に21の分野が設けられています。私が取得した運動器認定理学療法士は全国で4521名、三重県内では60名(2022年6月1日時点)が認定されています。

運動器とは、骨・関節・筋肉・神経など身体の運動に関わる組織・器官の総称です。運動器理学療法は骨折や変形性関節症、スポーツ障害・外傷、腰痛や肩関節周囲炎などに対して機能改善や社会復帰、二次的障害予防を目的とします。

日々の臨床では機能的な見直しを身体運動学的な観点から説明し、目指すべき状態や目標を患者様と共に設定しています。筋力や関節可動域などの身体機能評価、動作を確認し姿勢・動作指導、自主トレーニングや外傷・障害の発生予防アプローチの提案を行っています。あらゆる運動器障害からの回復を促進し、予防にも貢献できる運動器理学療法士として今後もより一層自己研鑽に努め、運動器疾患に関連した研究を行い、より知見を深めていきたいと思っています。

ご意見に お答え します!

Q 待ち合いが満席で少し離れたところに座ることがあるのですが、診察の順番になって呼ばれても気付けられないのでは心配になります。

A 待合室についてご不便をおかけしております。診察の順番になりましたら、離れた場所でお待ちいただいている患者さまにもお声をかけてまいります。

～オレンジゼリー～



調理師
加藤恒平
(かとうこうへい)

材料(6個分)

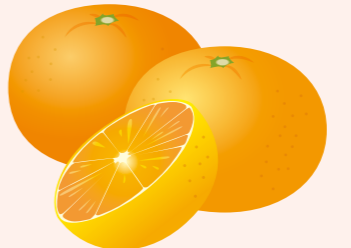
- オレンジ.....1個
- オレンジ果汁 100%.....450cc
- レモン汁.....30cc
- 砂糖.....40g
- 氷水.....50cc
- コアントロー (お酒).....30cc
- ゼラチン.....10g

作り方

- ゼラチンを氷水でふやかしておく
- オレンジを半分に切り果肉を取り出す
- オレンジ果汁、砂糖を鍋に入れて沸騰させてゼラチンを入れる
- ゼラチンが溶けて冷めたら、レモン汁、コアントローを入れて混ぜる
- オレンジの皮に果肉を入れ、ゼリーを流し入れる
※好みで、ナタデココを入れても美味しいです
- 冷蔵庫で冷やし固めて、完成

(栄養価)

- カロリー.....65kcal
- たんぱく質.....2g
- 塩分.....0.01g



誌面でクッキング

わたしのすすめ「テニス」

紹介 研修医 宗宮 史明

私がおすすめしたいのは、テニスです。ここ数年、錦織圭選手や大坂なおみ選手、国枝慎吾選手の活躍もあり、テニスは今まで以上に多くの注目を浴びるようになりました。私は大学から硬式テニスを始めました。テニスは初めは難しく感じますが、練習成果がみえやすく、やればやるほど上手くなります。学生時代には週に5回やるほどテニスに夢中になっていた時期もありました。今でも週に1回程度仕事終わりにテニスを楽しんでいます。

テニスの魅力はスポーツの趣味として長く楽しむことができること。老若男女問わず楽しめること。少人数でもできることだと思います。大人になると仕事などが忙しく、新しい趣味を見つけたり始めたりするのは意外とハードルが高いのですが、何か趣味があれば、プライベートがより充実するだけでなく、ストレス発散にもなります。もし趣味を探しているのであれば、テニスを始めてみてはいかがでしょうか!



SUZUCHU 外来診療担当表 ※裏面の外来のご案内もご覧ください

(2023年7月1日現在)

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診 初診	(循) 山本彩人	(循) 大学医	(循) 太田覚史	(循) 渡邊清孝	(循) 北村哲也
	2診 初診	(消) 向克巳	(胆・脾) 松崎晋平	(消) 齊藤知規	(肝) 岡野 宏	(消) 佐瀬友博
	3診 初再診	初診(血・腫) 川上恵基	再診(血・腫) 川上恵基	初診(消) 磯野功明	再診(血・腫) 川上恵基	初診(消) 熊澤広朗
	4診	午前 再診(糖) 真木加奈子	再診(肝) 西村 晃	初診(循) 牧野 翠	再診(胆・脾) 松崎晋平	再診(消) 大内祐介
		午後 再診(肝) 西村 晃		再診(肝) 西村 晃		
	5診 再診	(循) 北村哲也	(消) 佐瀬友博	(循) 北村哲也	(循) 濱田正行 (循) 山本彩人	(循) 濱田正行
	6診 再診	午前 (肝) 岡野 宏	(消) 向克巳	午前(消) 向克巳	(消) 齊藤知規	初診(循) 伊神明良
		午後	再診(腎) 高木幹郎	午後(腎) 大植優里		
	7診 再診	午前 (消) 竹中喬紀	(血) 小林俊諒	(循) 渡邊清孝	(循) 太田覚史	(循) 牧野 翠
		午後 (循) 伊神明良				(循) 岡戸 亮
	8診 再診	午前 再診(消) 茂井勇斗	再診(消) 熊澤広朗	再診(血) 水谷 実	初再診(血) 水谷 実	再診(腎) 小田豪将
	午後 再診(腎) 田中祐也				再診(腎) 大橋智貴	
9診 初再診	午前 初再診(膠原病) 大学医	初診(血) 大学医	再診(血) 岡田真名人	再診(一般) 山本伸仁	再診(腫) 水野聡朗	
	午後 再診(一般) 山本伸仁			再診(循) 喜多田昴祐		
10診 初再診	午前 初診(胆・脾) 田中宏樹	初診(消) 大内祐介	初診(腎) 田中祐也	再診(消) 磯野功明	再診(胆・脾) 松崎晋平	
	午後				再診(肝) 岡野 宏	
11診 初再診	午前 初診(循) 岡戸 亮	初再診(一般) 大学医	再診(胆・脾) 田中宏樹	再診(消) 豊田純樹	再診(消) 三谷隆敦	
	午後	再診(腎) 担当医				
眼科	1診		(再診) 大学医	初診休診		(再診) 大学医
	2診	(初再診) 宇佐美勇輔	(初再診) 宇佐美勇輔	(再診) 宇佐美勇輔	(初再診) 宇佐美勇輔	(初再診) 宇佐美勇輔
	3診	(初再診) 湯浅 湖	(初再診) 湯浅 湖	(再診) 湯浅 湖	(初再診) 湯浅 湖	(初再診) 湯浅 湖
	午後	手術	予約検査	予約検査	手術	予約検査
小児科	1診	(藤原 卓)		下野吉樹		下野吉樹
	2診	下野吉樹	下野吉樹	(藤原 卓)	下野吉樹	(藤原 卓)
	3診 特殊外来				第1.3.5中野千鶴子	篠木敏彦(第2週のみ)
	午後		予防接種(予約制)			
耳鼻咽喉科	1診 再診	久保寿美	担当医	藤田祐一	藤田祐一	久保寿美
	2診 初診	藤田祐一(紹介のみ)	初診休診	大学医・久保寿美(紹介のみ)	久保寿美(紹介のみ)	藤田祐一(紹介のみ)
呼吸器センター (内科・外科)	1診	再診(呼内) 中原博紀	初再診(呼内) 浅山健太郎	初再診(呼外) 川野理	再診(呼内) 浅山健太郎	再診(呼内) 中原博紀
	2診	初再診(呼内) 藤本 源	初再診(呼外) 深井一郎	初再診(呼内) 高木健裕	初再診(呼内) 中原博紀	初再診(呼外) 深井一郎
	3診	午前 再診(呼外) 中川啓輔				
	午後 初再診(呼外) 古田ちひろ	再診(呼内) 岡野智仁				
心臓血管外科	1診 初診	草深智樹	赤尾希美	谷川寛自	出崎良輔	金児博司
	2診 再診(予約)	金児博司	出崎良輔	濱田賢司(新患・予約)	赤尾希美	草深智樹
	3診 再診(予約)	長谷川文哉		畑中友秀	畑中友秀	
	午後					(午後再診: 濱田賢司(長谷川文哉))
	乳腺外来	(予約) 加藤由紀子(14:00~)		今井奈美(13:30~)		
整形外科	1診 再診(予約)	森川正和	長尾信人	(山田浩之)	長尾信人	横山弘和
	2診 再診(予約)	大原 昂洋	横山弘和	稲田 均(リウマチ)	稲田 均(一般)	稲田 均(リウマチ・一般)
	3診 初診	長尾信人(紹介のみ)	(初再診) 園分直樹	森川正和(紹介のみ)	横山弘和(紹介のみ)	大原 昂洋
	4診		(初再診) 大原 昂洋	(再診) 園分直樹		(再診) 森川正和
脳神経外科	1診	清水重利	担当医(紹介のみ)	清水重利	担当医	(一般・脊髄) 土屋拓郎
	2診	土屋拓郎	(再診) 森川篤憲	中島英貴		浅田玲緒尚
脳神経内科	1診 初診	川名陽介	佐羽勇輝	牧 聡樹	川名陽介	牧 聡樹
	2診	(午前新患) 持田大輝	牧 聡樹	川名陽介	(午前予約) 大学医	佐羽勇輝
	3診					
皮膚科	1診 午前	(初再診) 山際秋沙	(初再診) 大学医	(初再診) 山際秋沙	(初再診) 大学医	初診休診
	午後				(受付8:30~10:30)	(再診) 山際秋沙
精神科	1診 完全予約		(予約) 川喜田昌彦		(予約) 川喜田昌彦	
	2診 完全予約					(午後) 臼井正信
産婦人科	1診	(再診) 矢納研二	(初再診) 丹羽正幸	(再診) 丹羽正幸	(再診) 丹羽正幸	(再診) 矢納研二
	2診 初診・妊婦	(初診) 丹羽正幸		(初診) 矢納研二	(初診) 丹羽正幸	(初診) 丹羽正幸
泌尿器科	1診 初診	担当医	担当医	井上貴博	金井優博	橋本青摩
	2診 再診(予約)	金井優博	橋本青摩	長谷川万里子	橋本青摩	西原瑞己
	3診 予約のみ	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
放射線治療科	完全予約	村田るみ	村田るみ/水野智貴	村田るみ	水野智貴	村田るみ/水野智貴
IVR科	完全予約				中塚 豊真	中塚 豊真
病理診断科	完全予約	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也
健診センター	1診	作野功典	作野功典	作野功典	作野功典	作野功典
	2診	第1・3西村 晃	西村晃	西村 晃	西村 晃	西村 晃
		第2・4・5濱田正行		(脳ドック) 森川篤憲		(脳ドック) 森川篤憲

特殊外来

ご予約は各科外来へお願いします
TEL 059-382-1311(代)

内科
ペースメーカー外来 第1水曜・第2金曜 14:00~(要予約)

眼科
レーザー治療 火・水・金曜日午後要予約
斜視・弱視外来 火・水・金曜日午後要予約
眼内注射 月・水・木曜日(要予約)
(予約時間は検査開始時間になります)

小児科
第1.3.5木曜日午後 発達・神経外来(要予約)
(初診の場合は未就学児のみとなります)
火曜日午後 予防接種(要予約)
第2金曜日午後 小児リウマチ膠原病外来(要予約)
金曜日午後の乳児健診は休診しております

耳鼻咽喉科
FNA検査 木曜日 午後(要予約)

外科
ストーマ外来 水・木曜日14:00~(要予約)
乳腺外来 月曜日14:00~(要予約) 水曜日13:30~

整形外科
リウマチ科 水・金曜日(要予約)
診察予約電話受付時間: 12:00~16:00

脳神経外科
ボトックス(ボツリヌス)治療(上肢・下肢の痙攣)
金曜日(土屋医師、要予約)

脳神経内科
物忘れ外来 第1・3・5月曜日14:00~16:00要予約

皮膚科
手術可

精神科
火・木曜日(完全予約制)

緩和ケア内科外来
第2、4金曜日午後(完全予約制)

産婦人科
妊婦健診 月~金曜日完全予約制(要予約)
助産師外来 月~金曜日(要予約)

放射線治療科
完全予約制(要予約)

IVR科
完全予約制(要予約)

放射線検査
CT・MRI・RI・MMG(要予約)

病理診断科
完全予約制

健診センター「オリーブ」
人間ドック・脳ドック・肺がんドック
月・火・水・木・金曜日(予約制)
*健診センターにて受付致します。TEL.059-384-1017

内科からお願い

◇腎臓科への新患紹介は(水曜日)田中敏世医師にお願いします。
◇消化器内科(新患)への紹介は(消化管)は月・火・水・金曜日に、(胆・脾)への紹介は月曜日(田中敏世医師)・火曜日(松崎医師)に、(肝)への紹介は木曜日(岡野医師)にお願いします。
◇血液内科への新患紹介で、水・金曜日にお急ぎのご紹介をいただきます折は、事前に、血液内科(磯野)川上までご連絡ください。
◇月曜日 膠原病(大学医)の受付は初診・コンサルテーションともに10:30までとなります。診察枠が限られていますので、必ずご予約をお願いします。

小児科からお願い

◇腎・尿路系疾患の紹介は月・火・木(下野医師)にお願いします。
◇入院が必要な患者さまをご紹介いただけます折は、小児科外来に事前にご連絡ください。

心臓血管外科からお願い

◇入院・手術不可。肺腫瘍手術も実施しておりませんのでご了承ください。

耳鼻咽喉科からお願い

◇耳鼻科にご紹介の際は、[初診担当医]宛てをお願いします。
◇初診患者のご紹介は、月・水・木・金曜日をお願いします。(木・金曜日のみ受付時間が8:30~10:30迄となります。)

脳神経外科からお願い

◇火曜日の初診については紹介患者さんのみとさせていただきます。受付時間内(8:30~11:30)にご来院ください(予約不要)。ご紹介患者さまについてはご予約可能です。事前に診療情報提供書FAXしていただき、ご予約をお取りください。折り返し、予約日時をご連絡いたします。

呼吸器センターからお願い

◇呼吸器センターの初診料については紹介患者さんの方に限定するとともに、先生方からの電話にてその場で診察予約を取得させていただきます。
(呼吸器センター直通TEL.059-384-1025)
◇金曜日は呼吸器内科専門医での初診診察が不可のため、火曜日の肺炎患者さまを金曜日にご紹介いただく折は、「一般内科」にご紹介ください。呼吸器内科専門医での診察体制が整いましたら、呼吸器センター(内科)でお受けいたします。

泌尿器科からのお知らせ

◇ESWL(体外衝撃波結石破砕術)は現在行っておりません。ご了承ください。

皮膚科からお願い

◇患者さまのご紹介は月・火・水・木曜日にお願いします。(木曜日のみ10:30まで)手術予約のご紹介は月・水曜日にお願いします。

ご近所のお医者さま

※診療日について、都合にから休診または代診となることがありますので、詳しくは、各医療機関にお問い合わせください。

当院の登録医院を毎回2機関ずつ紹介しております。

サンクリニック太陽の街



往診可

院長
川西 正芳

HP: <http://www.sun-clinic3929.com>

◆診療科

●内科●循環器科●胃腸科●小児科
●リハビリテーション科

◆特色
鈴鹿中央総合病院との病診連携に沿って患者様の病気治療に携わり、健康維持に努めています。また在宅医療(点滴、在宅酸素、訪問看護、往診など)を行っていますので遠慮無くご連絡下さい。

◆備考
栄養指導、健康診断

●休診日
木曜日・日曜日・祝祭日

●診察時間
8:30~12:00(土曜日8:30~14:00)
16:00~19:00

●所在地
〒510-0259
鈴鹿市中瀬古町203-7

●電話 059-372-0212

fax 059-372-2048

もみの木整形外科



院長
須藤 隆夫

HP: <https://mominoki-seikeigeka.com/>

◆診療科

●整形外科●リウマチ科
●リハビリテーション科

◆特色
地域の一般整形外科治療を行い、骨粗鬆症治療に力を入れています。理学・作業療法士が常勤し、術後やスポーツリハを含めたりハビリテーションも行っています。

●休診日
木曜日・日曜日・祝日

●受付/診察時間
9:00~12:00 15:00~18:30

●受付/診察時間 土曜日
9:00~12:00 15:00~17:00

●所在地
〒514-2211
津市芸濃町椋本5069-6

●電話 059-266-2700
fax 059-266-2800

あなたからの声を、心からお待ちしています

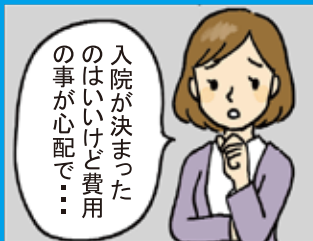
募集!

看護補助員(病棟・外来補助業務)パート
調理員(調理補助・給食業務全般)正社員、パート
管理栄養士(調理補助・栄養指導・給食業務全般)パート

お問い合わせ先

看護補助員:看護部 059-382-1311
調理員・管理栄養士:栄養科 059-384-1029

Coffee Break



SALON DE NEWS

鈴木ニュース

新入職員オリエンテーション

感染状況も収まりつつある令和5年4月、新入職員オリエンテーションが3年ぶりに対面で行われました。5日間の日程で、医師、看護師、コメディカルなど全職種合わせて78名の参加となりました。

オリエンテーションの最終日には参加者全員で「病院を良くするために自分たちはどうしなければいけないか」というテーマでグループワークが行われました。職種は違ってもそれぞれの立場であるべき姿を考え、親交も深められる時間となりました。

生命の駅伝

「生命の駅伝」は、がん研究の重要性を伝え、その研究を支援するための募金活動を目的に毎年開催されています。今年も5月15日から30日にかけて県内29市町をランナーが走りまわりました。

当院には5月18日にランナーが訪問され、皆様からお寄せいただいた募金の贈呈が行われました。



IVR科部長 中塚 豊真

最新式の血管造影撮影装置「アンギオCT」導入

鈴鹿中央総合病院に令和元年度より三重県では唯一の診療科となるIVR科が新設された。IVRとはインターベンショナル・ラジオロジー(Interventional Radiology)の略で、日本語での良い表現がなく、「カテーテル治療」「画像下治療」などと訳されている。X線(レントゲン)やCT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながら、細い医療器具(カテーテルや針)を入れて、標的となる病気の治療を行うものである。外科手術のようにおなかや胸を切らずに、体の奥にある臓器や血管の治療ができ、患者の体への負担が圧倒的に少ないという特徴を持つ。



…その先にあるもの

最新のアンギオCT導入

鈴鹿中央総合病院では、昨年度末までに院内改装工事が終了し、アンギオ室が2部屋から3部屋に拡充され、本年度4月より第3血管造影(アンギオ)室で最新のアンギオCTによる検査や治療が開始となった。今回は、この最新のアンギオCTについて、IVR専門医の中塚医師に話を聞いた。

治療精度・救命率の向上

本装置は大学病院に次いで導入となる県内で最も新しいアンギオCT(IVR-CT)で、血管造影や穿刺手術において非常に有用です。私が愛知県がんセンター病院の研修医だった1992年に、本邦で開発・導入された初号機を使用してから30年が



経過し、現在では海外でも広く普及し、全世界で200台以上が導入され、改良・発展を続けています。この度導入された最新のアンギオCTはキャノン社製 Alphenix Sky NX-8000C 血管造影(X線透視)検査と Aquilion Prime SP/i Edition 多列CT検査が、同一寝台で可能となり、時間外の緊急検査も含めて、ほぼ全てのIVR科手術を本装置で行い、治療精度・救命率の向上に寄与しております。従来はアンギオ室からストレッチャーを介してCT室まで移動し対応していたため、位置特定にズレが生じたり、患者さんの呼吸性移動での不具合が生じることがありましたが、手技中にCTを撮影できることで、より正確な治療が可能となり、時間効率の上昇やこれまで困難であった手技、詳細な画像表現もできるようになりました。重症外傷患者さんを移動させることなく初期診療からCT検査、TAE(※1)、さらにはダメージコントロール手術を可能とした高機能初療室となり、より多くの患者さんを診ることが可能となりました。IVRは主に局所麻酔で行うため、低侵襲かつ短期入院で繰り返し行える利点があり、幅広い患者さんが治療対象とな

ります。令和4年9月からは、肺・腎・骨軟部腫瘍のラジオ波焼灼(RFA)治療が保険適応に拡大され、医療費の削減も期待され、今後ますますニーズが高まると思われます。また、スタッフの中にはINIE認定看護師(※2)も在籍しております。本最新装置を利用しスタッフ一同、県内外の皆さまのご期待に応えられるよう、より一層の努力を重ねてまいります。

取材・撮影 TCK名古屋

こちら解説室

※1 TAE

TAEとは肝臓がん(肝がん)や動脈出血、動脈瘤などの治療法の一つで、動脈塞栓術(transcatheter arterial embolization)の略です。肝がんは、進行すると肝動脈の血流が豊富になり、腫瘍への栄養を供給するようになります。

※2 INIE認定看護師

インターベンションエキスパートナースとしてIVR(インターベンショナル・ラジオロジー)で行う検査や治療に対して、専門的な知識を有し、認定された看護師です。IVRとは、画像を用いて行う経皮的・低侵襲に行う診断的治療行為のことで、患者さんの意識がある状態で行われ、身体への負担を軽減することが可能です。IVR認定看護師は、治療に対し専門性を発揮することで、患者さんのストレスや不安を軽減するという役割があります。

教えてQ&A

〈医事課より〉

「医療費について」

入院が決まったとき、体のことだけではなく、費用のことももちろん不安です。ね。費用の心配をできるだけ少なくしたい、そんなときに使える制度があります。それが高額療養費制度と限度額適用認定証です。

Q1 高額療養費制度ってなに？

A 高額療養費制度とは、入院等で医療費の自己負担額が高額となったときに、一定の金額(自己負担限度額)を超えた部分(自己負担超過額)を支払ったとしても、後から返還されるシステムになっています。返還は、医療機関等から提出される診療報酬明細書(レセプト)の審査を経て行われるため、診療月から3カ月以上はかかります。申請について、社会保険の場合は加入している各保険者又は勤め先の総務課へ、国民保険の場合は市役所の窓口にお問い合わせ下さい。

Q2 限度額適用認定証ってなに？

A 高額療養費制度では、医療機関より請求された医療費の全額を支払ったうえで申請する

ことにより、自己負担限度額を超えた金額が払い戻しされます。しかし、一時的にせよ多額の費用を立て替えることになるため、経済的に大きな負担となります。そこで、「限度額適用認定証」を先に発行しておき、医療機関の窓口提示することで、医療機関ごとのひと月の支払額が自己負担限度額までとなります。予め自己負担限度額が決まっているため、支払う金額が最小限で済みます。認定証の発行は社会保険の場合は加入している各保険者又は勤め先の総務課へ、国民保険の場合は市役所の窓口にお問い合わせ下さい。

当院では令和3年度よりオンライン資格確認システムの導入により、各保険者や市役所への申請が無くとも、患者さまの同意が得られれば限度額情報がオンラインで取得可能です。詳しくは当院総合受付にてお声がけ下さい。

地域連携NOW!!



INFORMATION

鈴鹿中央総合病院

研修会を行います。

本研修会は、地域の医療従事者を対象に新しい医療のあり方や見識を高めるため、毎月定期的に勉強会を行い地域医療技術向上を目的としています。
お問合せ先 地域連携室 Tel.059-384-1057 (直通)

学術講演会

日時 令和5年7月27日(木曜日) ●18:15~19:30

●鈴鹿中央総合病院/2階講義室

座長 鈴鹿中央総合病院 循環器内科部長 太田寛史先生

演題 「医療DXで進化する心不全診療の地域連携」

演者：三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学教授/土肥薫先生

日時 令和5年8月24日(木曜日) ●18:15~19:30

●鈴鹿中央総合病院/2階講義室

座長 鈴鹿中央総合病院 副院長 村田哲也先生

演題 「ポストパンデミック時代のCOVID-19対応と次のパンデミックへの備え」

演者：三重大学医学部附属病院 検査部感染制御部部長・教授/田辺正樹先生

日時 令和5年9月28日(木曜日) ●18:15~19:30

●鈴鹿中央総合病院/2階講義室

座長 鈴鹿中央総合病院 副院長 稲田均先生

演題 「神経障害性疼痛の治療～麻酔科医の立場から」

演者：三重大学医学部附属病院 麻酔科科長教授/賀来隆治先生

肺がん検診のための胸部単純X線症例検討会

●鈴鹿中央総合病院/北館(新館)2階講義室1

「持ち寄り症例相談」●19:15~

令和5年
7月11日
(火曜日)

令和5年
9月12日
(火曜日)

RCC ●午前7:30~8:00

RCC: Resident Case Conference

●鈴鹿中央総合病院/北館(新館)2階講義室1

演題 「臨床研修医の経験症例発表」

BCT ●午前7:30~8:00

※事情により予定変更する場合があります BCT: Basic Clinical Teaching

●鈴鹿中央総合病院/北館(新館)2階講義室1

日時 令和5年7月5日(水曜日)

演題 「肝障害」

演者：消化器内科/岡野宏

日時 令和5年7月26日(水曜日)

演題 「耳鼻科救急疾患」

演者：耳鼻咽喉科/藤田祐一

日時 令和5年8月9日(水曜日)

演題 「急性腎不全」

演者：腎臓内科/高木幹郎

日時 令和5年9月6日(水曜日)

演題 「気胸と胸部外傷」

演者：呼吸器外科/川野理

SUZUCHU

Doctors who are staff of our hospital

HOT LINE スタッフ紹介 麻酔科 塩崎 裕紀



Yuuki Shiozaki

麻酔科医長
塩崎 裕紀

当院麻酔科にて勤務しております塩崎裕紀です。三重県津市の出身で、2012年に三重大学医学部を卒業後、当院で2年間の初期研修をさせていただきました。当初は別の科に進むつもりでしたが、研修をする中で手術麻酔における全身管理の奥深さに心惹かれ、麻酔科を選択することに決めました。その後も当院にて3年間の後期研修を経て現在へ至っております。

1804年11月14日、江戸時代の文化元年

に和歌山県の華岡青洲医師によって世界初の全身麻酔が成功されました。曼荼羅華(マンダラゲ)、別名チョウセンアサガオを主成分とした「通仙散」という麻酔薬を使用して60歳女性の乳がん手術を行いました。世界では1846年にマサチューセッツ総合病院のウィリアム・モートン歯科医がエーテル麻酔を成功したことが知られていますが、日本ではその40年以上も前に世界に先駆けて全身麻酔を成功させていたといわれています。

現代において本来麻酔科が受け持つ領域は、手術室における麻酔業務、集中治療、疼痛医療、緩和医療と多岐に渡ります。しかしその一方で、三重県では(三重県に限った話ではありません)深刻な麻酔科医不足により、県内のほとんどの病院では手術室の麻酔業務のみで手一杯になっているというのが現状です。それどころか麻酔科医だけでは手が足りず、症例によっては各

科の先生方に自科麻酔をお願いしている病院も多いと思います。当院では年間約1000例の全身麻酔症例を行っておりますが、その全てを麻酔科が担当させていただいております。麻酔薬、ビデオ喉頭鏡やモニタリング機器などが日々進歩していく中で、患者さんにとって、より安全な手術麻酔や質の高い術後鎮痛を提供するため、麻酔科としての専門性を遺憾なく発揮できるよう日々研鑽を積んでおります。

最後に、私たち麻酔科にとって直接の関わりはあまりないのですが、近隣の開業医の先生方のご紹介あってこそこの手術件数だと考えております。この場をお借りしてお礼申し上げますとともに、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。

今後とも鈴鹿・亀山地区における手術業務に貢献できるよう努力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

外来のご案内

◆診療受付時間/午前8:30~11:30まで

- 診療科により診療日、診療時間が異なる場合があります。
- 再来受付機のご利用は午前7:50から

◆休診日

- 都合により、事前連絡なく代診・休診になる場合があります。ご了承ください。
- 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月30日~1月3日)
- 緊急の場合は休診日や診療時間帯に関わらずお問い合わせください。
- ☎ 059-382-1311 (代)

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、必ず保険証とあわせて新患受付にお出ください。

◆患者さまへのご案内

- 診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。
- 毎月1回、保険証の確認を行っております。3ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。保険証に変更が

ある場合は必ず受付までお申し出ください。

- 受診の際、お車で越しの方は駐車整理券を会計後お出しいただき、駐車料金無料の磁気処理をお受けください。
- 外来担当者が都合により代診や休診になる場合があります。ご了承の程よろしくお祈いします。
- ◆紹介状をお持ちの方
 - 紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。係の者をご案内させていただきます。
- ◆保険外併用療養費(選定療養費)について
 - 初診で紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費として7,700円(税込)をいただきます。紹介状をお持ちいただければ7,700円(税込)は不要となります。
 - 再診の患者さままで下記に該当されます折は選定療養費として3,300円(税込)をいただきます。

- ①かかりつけ医への紹介を受けたが、紹介状なしに再受診された場合
- ②かかりつけ医への紹介を当院医師より打

診されたが、当院での診療を希望された場合

◆セカンドオピニオン外来のご案内

●当院ではセカンドオピニオン外来を行っております。★完全予約制★ ご予約、お問い合わせは、地域連携室にて承っております。

予約・問い合わせ受付時間

月~金 9:00~16:00 (年末年始・土・日・祝日除く)

☎ 059-384-1057

※ご予約は医療機関からの申込のみとなります。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と、公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と、患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示と、セカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進